

会議等結果報告書			
会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号 決裁期日	上富総務 第1507号 平成17年12月2日
名称	(12月)臨時課長会議(行革プロジェクト報告)		
日時	平成17年12月2日 9時00分～11時25分		
場所	上富良野町役場 第3会議室		
出席者	別紙名簿のとおり 助役、課長職12名(代理出席2名を含む。) 事務局等2名 説明員 各プロジェクト座長等4名		
内容	<p>行財政改革実施計画検討プロジェクト報告について</p> <p>助役：一昨日の課長会議において資料を配付したため、時間がない中で一通り見ていただき検討までは至ってないと思いますが、内容的にまとまっているものと思う。</p> <p>1 行政資産の適正運用検討プロジェクト(午前9時00分～午前10時15分)</p> <p>(1) 別添報告書に基づき、松井座長から説明</p> <p>(2) 質疑・意見交換</p> <p>助役：別表1の建物について、道でも延命化のプランを進めているようだが、町の建物で建築後20年以上を経過しているが構造によりそれぞれ耐用年数が違うが、更新時期のピークがいつごろになるのか、すぐにそれが示せるのか。</p> <p>プロジェクト座長：総務、企画財政、建築担当、各施設管理者で構成する「公共施設維持管理対策委員会(仮称)」で検討していただきたい。</p> <p>助役：次の施設管理経費と重複するものがあるが。</p> <p>町立病院事務長：土地について、宅地開発などによりそれぞれ一定の緑地帯が設けられているが、面積も少なく、利用度も低いので、交換等によりまとめてはどうか。</p> <p>道路河川班主幹：制度的に無理であると思う。目的を持って確保しているものであり寄付を受けている。</p> <p>助役：議会でも処分する意見をいただいているが、土地については、コストをかけているものは少ない。また、利用度の低くなっているもの、建設当時のニーズ、利用転換など、資産総量の合理化していく必要がある。</p> <p>町立病院事務長：小中学校の空き教室がもったいない。学校側では、有効利用しているというが、管理上の問題もあると思う。</p> <p>助役：市街地区の学校について、いろいろな学校内部の需要、必要なものに使用することで話し合いされている。また、このような意見が引き続きされている。少子化も進んできているので、管理上の問題もあると思うが、有効利用を進めていく必要がある。</p> <p>利用実態からして、空いている時間が長いと思う。稼働率を高める必要がある。稼働率を高めることができなければ、閉鎖することも考える必要がある。施設があると経費がかかる。</p> <p>施設寿命の延命化など具体的な方針をもとに組み立てなければならない。</p> <p>町民生活課長：町有地の境界杭入れを20年前に実施したが、普通財産の「C」については、以来変わっていない。</p> <p>助役：変化に弱い、重く考えたい。</p>		

内 容	<p>ラベンダーハイツ所長：躯体そのものの耐用年数と付帯する施設の耐用年数の違いがあるので、難しいものがある。躯体そのものの延命は対応できるが、設備については、難しい。</p> <p>助役：設備については、以前から検討されているが、経費が多額なことから実施されていない。</p> <p>ラベンダーハイツ所長：耐震構造になっていない学校がある。</p> <p>助役：公民館をリニューアルしたが、見た目は新しいが、実態はどうか。</p> <p>ラベンダーハイツ所長：地震対策が問題となる。</p> <p>助役：判断基準として、これをまとめていかなければならない。</p> <p>プロジェクト員：検討結果の「A」については、必要であって今後も永続的に維持していくもので、延命策として施設に対する財政的なものが不可欠となる。</p> <p>助役：財政的ルールに乗せなければならないが、財源があれば対応できるが、なければできない現状にある。</p> <p>プロジェクト員：早めに対応していけば少ない予算で済むが、遅れれば、多額の経費がかかる。</p> <p>助役：総体的には賛同されていると思うが、今後総務課等において具体的な内容にしていくものと思いますので、協力を得ていきたい。</p> <p>2 施設管理経費縮減検討プロジェクト（午前10時25分～午前11時20分）</p> <p>（1）別添報告書に基づき、水島座長から説明</p> <p>（2）質疑・意見交換</p> <p>助役：会館に係る管理方法の検討。住民に委ねるもので、保険料、大規模修繕は別途としなければならない。</p> <p>全面委託は、指定管理者制度となるのか、含まれるものと、そうでないものがある。</p> <p>機械警備の見直しについて、機械警備が必要なのか否かのみ直しが必要であり既に開拓記念館のように止めた施設もある。</p> <p>子育て支援班主幹：泉栄防災センターの鍵の管理経費の削減を予定している。</p> <p>ラベンダーハイツ所長：しらかば会館については、管理人に住民会から手当てを支払っている。また、会館の使用料金については、住民会の収入になっている。</p> <p>助役：施設ごとに対応のばらつきがある。</p> <p>子育て支援班主幹：東中保育所について、平成18年3月に閉鎖を予定しており東中第2会館として、少人数利用の場合東中会館からシフトすることにより暖房費の節減になる。</p> <p>総務課長：庁舎の警備、清掃委託内容の変更により経費の削減が図られると思うが、プロジェクトでは、どのような内容で検討がなされたのか。</p> <p>プロジェクト座長：経費の削減のみについて検討した。</p> <p>助役：点検業務の一括契約については、どうなっているか。</p> <p>総務課長：課題として検討する。</p> <p>子育て支援班：会館について、郡部の場合は、経費を戸別に徴収し、使用料は徴収していない。また、市街地の場合は、経費の個別徴収はないが、使用料を徴収している。</p> <p>助役：分館は教育委員会、集会施設は総務課が所管しているなど担当がばらばらであり、取り扱いが統一されていない。</p> <p>町民生活課長：廃止するものに3施設挙げられているが、内部協議がされていない。また、関係機関及び関係者との協議をしなければならない。</p> <p>総務課長：宿日直を復活することの検討は、課題の解決が必要がある。</p> <p>会計課長：住民対応に関しては、現在の方法が望ましいこともある。</p> <p>助役：今回のプロジェクトの報告については、総務課を中心に精査していくことになると思うが、内容的にも取り組みの可能なものがあるので、平成18年度から実現できるよう検討されたい。</p>
-----	---